

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣西高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年1月22日(木) 14:00~16:00
- 3 開催場所 大垣西高等学校 会議室
- 4 参加者
会長 木村 幸雄 大垣市静里地区連合自治会長
副会長 杉原 茂男 中部学院大学特命学長補佐兼入試広報部長兼特任教授
委員 安藤 成実 あおいこども園 主幹保育教諭
高井 良博 日本耐酸塗工業株式会社 総務部 部長(欠席)
小林 清秀 朝日電気株式会社 代表取締役
清水 理加 地域住民代表
石川 与弘 本校育友会会长
- 学校側
秋場 豊 校長
立川 喜教 教頭
新沢 英俊 事務長
小谷 和也 教務部長
浅野 泰秀 進路指導部長
武田 峰治 生徒指導部長
水上 尊雄 特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校評価アンケートの結果について
- (2) 令和7年度自己評価について
- (3) 探究活動発表会を参観して

意見1：参観した探究活動発表会のように人前で話して説明する機会は、今後社会に出て重要なところだと思った。学校評価アンケートの結果を見ると、おおむねよい結果となったが、改善できるところは引き続き進めてもらいたい。年度末評価を見て、様々な取組みをやってもらっているので感謝している。また、教職員もICT機器の活用に苦労していると思うが、来年度の1年次生からタブレット端末を各自購入して持参することとなったため、これまで以上にICT機器の活用に力をいれて

もらいたい。今後も地元企業と連携して、生徒が様々な体験をして視野を広げる機会を設けてもらいたい。

意見2：探究活動発表会を参観して、夏休みに大垣市役所を訪問して担当者に質問したり、年次全体にアンケートをとって現状をまとめたりしたことが分かり感心した。また、発表会では教職員と生徒が良い関係を築けていることが分かった。年度末評価を見て、特別活動での様々な取組みに参加することは大変貴重な経験で、これから的人生の糧になる。仲間と協働して得た経験が受験にもつながるので、今後も特別活動での取組みを大切にしてほしい。本日はすれ違う教職員、生徒からの挨拶が少なくて残念だった。挨拶も大切にしてほしい。

意見3：探究活動発表会では、参観した発表でクイズを出していたが、なぜその解答になるのかを説明できたらもっとよい発表になった。「日本への留学生数を増やすにはどうすればよいか」の発表を聞けなかったので内容を知りたい。私も仕事で留学生に関わっているが、留学生は覚悟して日本に来ていて、一生懸命勉強している。また、挨拶もしっかりする。彼らの現状を知る機会をぜひ設けてほしい。

意見4：同地域に住んでいて、よく生徒の登下校を見ているが、部活動を終えての帰宅の時間（午後6時から午後7時）は周りが暗くて危険である。自転車で並進しないよう指導してもらいたい。探究活動発表会では、部活動に関する発表を聞いて、部顧問の教職員の現状など、生徒が考えている課題を知ることができた。また、別の発表では最後に「私たちにできること」を話して、聞いている人たちに考えさせたのは大変よかったです。ただ、発表の声が小さかったので、自信をもって発表できるとよいと思った。

意見5：今はスマホですぐに検索できる時代だが、探究活動のように仲間とともに一つの課題に対して議論し、課題解決の案を考えるのは大事である。社会に出ても、色々な疑問をもち、どういうことなのかとか、こうするとよいのでは、と意識をして意見を考えることは何事においても大切である。こういった機会を継続して設けてほしい。自転車のヘルメットの着用は少しずつ増えているが、ヘルメットの斡旋をすれば着用率も増えるのではないだろうか。保育実習に参加する生徒の様子を見ると、姿勢を低くして園児の目線に合わせて話しているのに感心した。人と人が触れ合う社会に出ると、コミュニケーション能力が大切なので、その力を養う機会を引き続き与えてもらいたい。

意見6：文化祭に関して、99%の生徒がよかったですと回答したが、それは自分たちだけが閉鎖的な空間で盛り上がったという感じになる。閉ざされた学校作りになっていないだろうか。「開かれた学校づくり」と書かれているが、何をもって開かれた、とするのかがよく分からない。これは非難ではなく、これでよいのだろうかという問題提起だと考えてもらいたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、2年次探究活動発表会を参観してもらい、生徒の活動に関して有意義な意見交換を行うことができた。生徒・保護者による学校評価アンケートの結果や令和7年度年度末評価から、成果や課題を踏まえ、来年度に向けての改善方策に助言を得ることができた。今後も引き続き地域との連携を深めながら、学校運営に生かしていくことを確認した。